

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果 (犬の縫いぐるみ 緑首輪)

- (1) 左前足が折れている。(図-1)
- (2) 応急手当の跡が見られる。ボンドが材質に適合していなかったようである。(図-2・図-3)



図-1 左前足骨折



図-2 応急手当の跡



図-3 不適合ボンド

2 治療の方法

- (1) 治療の方法は、折れた箇所が直線部分のため、内側に添えを入れることに決めた。
- (2) おもちゃの廃品を利用した。図-4は、塩ビの丸い棒を四角に削って長さを決め切って作成。図-5は、廃品おもちゃの電池ボックスの蓋の一部を切り取り、厚さ・長さを合わせて作成。



図-4 広い方の溝に合わせて削る



図-5 厚さがほぼ同じ材料



図-6 本体側からボンド付する



図-7 折れて離れた足を挿し込む



図-8 溝の深い部分補強



図-9 仕上げは白色を塗る

- (3) 図-7では、先に入れた添えにボンドを付け挿し込んだ。
- (4) 図-8は、折れて離れた方は、折れた箇所から少しのところまで溝が深くなっているため、添えとの空間を埋めるため、塩ビ材を鋸ぎりで切った時にできるクズ(粉)を先に入れ、後から適量のボンドを入れるとすぐに固まる。

- (5) 図-9 は、乾燥した後に白の塗料を塗ったところ。見えない場所ではあるが、、、、
- (6) 図-10 は、折れて治療した跡がわからないほどに直った写真。左前足である。
- (7) 図-11 は、正面を見て、完治したことを喜んでるところ。
- (8) 図-12 は、「僕、いつ退院できるのかなー」と言っているところ。



図-10 骨折の跡がわからない



図-11 直って嬉しい



図-12 早く帰りたいなー

3 ドクターからのアドバイス

- このおもちゃの欠点は、足のつくりが弱いことです。骨折して入院されるワンちゃんが大変多いです。
- ◎ 優しく遊んでやってくださいね。

追 伸

使用したボンドの紹介

セメダイン3000RXF
 瞬間接着剤 ・強力型
 用途：硬質プラスチック
 合成ゴム
 金属
 容量：20g



お渡し予定日：平成29年02月11日
 担当ドクター：谷 春 雄